



2026年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社井筒屋

代表者名 代表取締役社長執行役員 松本 圭

(コード番号 8260 東証スタンダード)

問合せ先 管理本部次長兼経営企画部長 林 克之

TEL(093)522-3720

2026年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年2月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年2月期 連結業績予想の修正

2026年2月期 通期連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|-----------------|--------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 22,400 | 百万円 900 | 百万円 700 | 百万円 700 | 円 銭 62.02 |
| 今回修正予想(B) | 21,500 | 600 | 400 | 400 | 35.76 |
| 増減額(B-A) | △900 | △300 | △300 | △300 | - |
| 増減率(%) | △4.0 | △33.3 | △42.9 | △42.9 | - |
| (ご参考)前期実績 (2025年2月期) | 22,158 | 1,040 | 741 | 999 | 88.40 |

2. 業績予想の修正理由

物価上昇の継続等により消費者の節約志向が強まる中、高額品需要の伸び悩みや衣料品の苦戦などにより前年比 96%程度で推移していた第2四半期までの売上高に対し、継続して経費の効率的な運用に努めてまいりました。また、第3四半期以降、高額品を中心とした新規商材の積極的な導入、新規催事やアプリ・SNS を活用した販売促進などの需要喚起施策により、直近3か月の売上高は前年比 99%程度と回復傾向を示すなどこれら施策の効果が徐々に表れつつありますものの、最大商戦となる第4四半期を通じましても期首からの売上高及びそれに伴う売上総利益の減少を補うことは難しい見通しとなりましたため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上